

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-240974(P2003-240974A)
【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)
【出願番号】特願2002-34119(P2002-34119)
【国際特許分類第7版】
G 0 2 B 6/00
【F I】
G 0 2 B 6/00 3 4 6

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月14日(2005.2.14)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

光ファイバ配線板であって、
第1粘着材層と第2粘着材層のいずれか一方の一表面に光ファイバを所望のパターンで敷設し、その上に他方の一表面を押し付けて両表面を互いに接着させて成り、
第1粘着材層と第2粘着材層は常温においてそれぞれ光ファイバが少なくとも半径分だけ密着して埋没可能な柔軟性を有し、
第1粘着材層と第2粘着材層の互いに接着される表面は常温でプライマを介装して押し付けられ、該プライマが第1粘着材層および第2粘着材層と常温で化学的結合をする、ことを特徴とする光ファイバ配線板。

【請求項2】
第1粘着材層と第2粘着材層は光ファイバの半径の2倍以上の厚さを有する、ことを特徴とする請求項1に記載の光ファイバ配線板。

【請求項3】
第1粘着材層の外側面と第2粘着材層の外側面の、一方、または、両方に、べとつき防止用の被覆を有する、ことを特徴とする請求項1に記載の光ファイバ配線板。